

“スキ”に出会い 心をはずませて取り組む造形活動

平成22年度

第28回 中国五県造形教育研究大会

第49回 広島県造形教育研究大会（大竹大会）

第5回 広島県西部造形教育研究大会

平成22年11月10日（水）



さかえ保育所

大竹中央幼稚園

大竹市立玖波小学校

大竹市立大竹中学校

広島県立宮島工業高等学校

あいさつ

広島県造形教育連盟会長
吉迫 清海



古くは、山陽道の要路に位置し、現在は石油コンビナートなどの多くの企業が立地した瀬戸内工業地域の一拠点として発展しているこの地におきまして、第28回中国五県造形教育研究大会、第49回広島県造形教育研究大会（大竹大会）、第5回広島県西部造形教育研究大会が盛大に開催できますことを心よりお礼申し上げます。本大会に向けて取り組んでこられました実行委員会の皆様、現地会員の皆様方に心より感謝申し上げます。

さて、平成20年3月に新しい学習指導要領が告示され、我が国の学校教育の新たな方向が示されました。全面実施が小学校では平成23年度、中学校では平成24年度に迫っています。この改訂で、図画工作では、「感性を働かせながら」という文言が加わり、感覚や感じ方、思いが一層重視され、内容が発想と構想、創造的な技能、鑑賞などの能力から整理されています。また、小中学校の図画工作・美術では、育成する資質や能力を明確にするため〔共通事項〕が示されるとともに、「自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」ことなどが示されています。

造形活動は、自ら感じ取った美や心情、考えを、形や色、材料で表現する創造的で個性的な活動です。表現や鑑賞の学習は、それまでに培った感性と知識・技能をもとに、思考力と判断力を働かせ、表現を工夫したり作品の見方を深めたりする学習です。この学習の中で、一人一人の子どもが喜びを感じるのは、自分の考え、思いに基づいて発想したことや構想したことが、生き生きと表現できたと実感できる時だと考えます。

本大会のテーマである「“スキ”に出会い 心はずませて取り組む造形教育」は、子ども達が出会いの中で、創ることの喜びを感じながら、のびのびと表現している姿や、自分や他者の表現のよさに触れながら、あるいは積極的に他者との関わり合いを深めながら、よりよい表現を目指す姿を求めているものだと考えます。

本日の公開保育・授業、実践発表を通し、新学習指導要領の出発点として、造形教育の意義や方向を確認し合い、課題を共有しあえる場となるよう願っています。

ここ広島県西部の先生方の本研究大会に向けられましたご努力が成果として実を結び、今後の中国五県の造形教育の発展のために大きく寄与するものと信じています。

終わりにになりましたが、大会運営開催にご尽力くださいました多くの皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会を後援いただきました中国地方五県の各県教育委員会、廿日市市教育委員会、並びに共催いただきました大竹市教育委員会、支援いただきました各関係教育機関、各研究団体の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

大会テーマ

“スキ”に出会い 心はずませせて取り組む造形活動

大会テーマ設定理由

広島県では、「元気挑戦プラン」に基づき、“人づくり”をめざした「新たな『教育県ひろしま』の創造」の取り組みを進めています。

また、時代や社会がめざましく変化する今、子どもたちの豊かな人間性と確かな個性＝「生きる力」を育成することは一層の急務です。

そうした状況の中で、造形教育の果たすべき役割は、実に大きなものがあると確信します。

そこで、私たちは造形教育の中でこそ育まれていく力を育てるために、2本の柱をもってこの研究大会に臨みます。

“スキ”に出会う

一つ目の柱として、私たちは子どもたちに、造形活動の中でたくさんの「スキ」に出会い、「スキ」を見つけてほしいと思います。

例えば、活動過程そのものが、楽しく夢中な時間として「スキ」と思えることがあるでしょう。また、鑑賞などを通して、「スキ」と思える自分や他者の作品・思いに気づくこともあるでしょう。このように造形活動の中で子どもたちは、様々な「スキ」と出会うことが期待されます。この出会いは、自己実現の場であると同時に自己存在感を高めたり他者理解を深めたりすることのできる貴重な時間や場になると考えます。

そこで、私たちは、“スキ”に出会える活動を保育・授業の中で創り出していくことを目指します。

心はずませる

二つ目の柱として、私たちは、造形活動が子どもたちにとって「心はずませる」ものになってほしいと思います。

造形活動は、一本の線・一つの形・一つの色、すべてに小さな不安と大きな期待を持った作業です。そして、わくわくする期待感・ドキドキする緊張感・ほっとする満足感など、子どもたちは造形活動の中で様々な感情を揺り動かしています。このことは、子どもたちの持つ感性を働かせたり育んだりするための大切なきっかけとなっていくものと考えます。

そこで、私たちは、「心はずませる」活動を保育・授業の中で創り出していくことを目指します。

校種別テーマ

- | |
|-----------------------------------|
| 保育園・・・「経験や体験を通して行なう造形活動とその援助」 |
| 幼稚園・・・「表現・色と形の自己主張～その下準備としての教育は～」 |
| 小学校・・・「つくりだす喜び ひびき合う楽しさ！」 |
| 中学校・・・「生徒一人一人の価値意識を高める鑑賞指導のあり方」 |
| 高校・・・「木の温もりを感じながら～木工の実技研修を通して～」 |